

- 庁舎整備の検討状況・本庁舎の整備手法と条件
.....2・3面
- 本庁舎の建て替えについてアンケートにご協力ください
.....4面

2012年 2月18日(土) 本庁舎建て替え特別号
 (平成24年)

広報いちかわは新聞折り込みでお届けするほか、市内各駅の広報スタンドと公共施設で配布しています。入手困難な方で自宅への配布をご希望の場合は、広報広聴課へお問い合わせください。



市川市では、小学校や保育園など、市の建物の耐震補強工事を計画的に行っていますが、本庁舎については、耐震性が著しく不足しているだけでなく、補強も難しい状況にあります。

そこで、地震に対する安全性を確保していくため、建て替えを検討していますが、これまでの検討により、現在の本庁舎敷地だけでは必要な面積の確保ができず、一部を分散しながら現在の本庁舎の建

市役所本庁舎の建て替え あなたの意見をお聞かせください

本紙・eモニター・郵送でアンケート

て替えを行うか、全面移転して建て替えをしなければならぬ状況です。

そこで、今後、本庁舎の建て替えをどのように進めるべきか、皆さんのご意見を募集します。より多くの方にご協力いただくため、本紙3・4面の紙上アンケートに加え、eモニターと無作為抽出による郵送アンケートも行っています。

(管財課)

本庁舎の状況
 こんな問題を抱えています

●地震への安全性

本庁舎(八幡1丁目)は、耐震診断の結果、震度6強を超えるような大地震によって、倒壊する危険性が高い状況です。今後、いつ発生してもおかしくないといわれている

●庁舎の老朽化やバリアフリー化の遅れ

本庁舎は、これまで行政需要の拡大に伴う増改築を行ってきたため、3つの建物に分かれており、増築の際に生じた段差が庁舎の間にあるなどバリアフリー化が進められず、また窓口の待合スペースも不足している状況です。さらに、最も古いものは築50年以上が経過し、老朽化も進んでいます。

「東京湾北部地震」「東海地震」などがあれば、市役所としての機能が損なわれるばかりでなく、防災拠点として被災者の救助や支援、さらには復興活動ができません。ご予想されます。

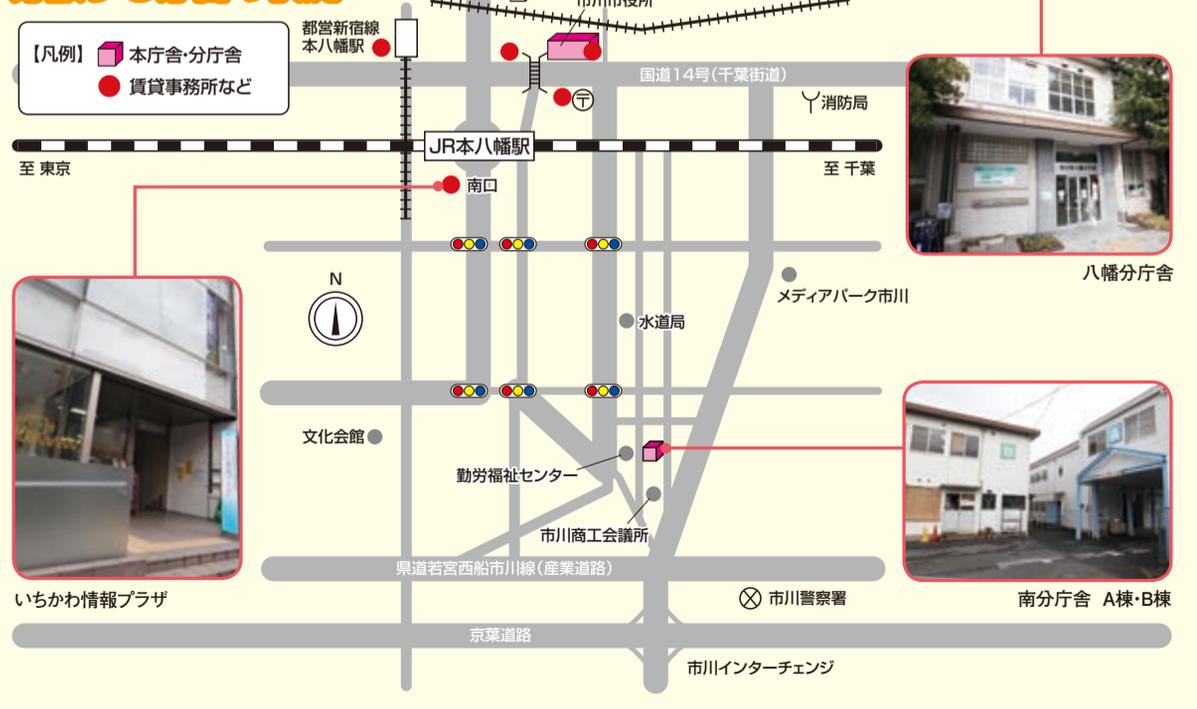
庁舎名	本庁舎		
	第1庁舎	第2庁舎	第3庁舎
建築年(築年後)	昭和34年(52年)	昭和46年(40年)	昭和54年(32年)
耐震性※	0.33	0.34	0.94

※耐震性はIs値(建物の耐震安全性を示す指標)による。防災拠点として安全性を確保するための目標値は0.9以上。



増築の際に生じた庁舎間の段差

分散する庁舎の状況



●庁舎の分散

本庁舎で行うべき業務は、葛飾八幡宮となりの八幡分庁舎、市川インターチェンジ北側にある南分庁舎の2カ所の分庁舎のほか、民間ビルの一部を事務所として借りているものなども含め、本庁舎の他に、周辺だけでも7カ所に分散して行っている状況です。

市川市の本庁舎(八幡1丁目)の建て替えについて アンケートにご協力ください。

回答方法

- 本紙3頁下段のアンケートについて、当てはまる答えのアルファベットを○で囲んでください。
 - 回答の記入を終えたら、切り取り線に沿って切り抜き、封筒状にのりづけをして郵送(切手は不要)してください。
- ※住所・氏名の記載は不要です。
 ※直接持参またはFAX336-8053での受け付けも行っております。
 ※アンケートに対し、個別に直接回答はいたしません。
 ※自由意見の記入欄が足りない場合には、お手数ですが別紙(用紙1枚程度)に記入いただき、同封してください。

郵送アンケートにもご協力を

本紙掲載のアンケートのほか、本庁舎の利用状況や建て替えに関するアンケートを、無作為により抽出した20歳以上の5,000人の方へ郵送でお願いしています。回答は2月29日(水)までです。ご協力をよろしくお願いいたします。
 なお、郵送アンケートが届いている方は、本紙アンケートの回答は不要です。

本庁舎建て替えの問い合わせ ☎334-1112 管財課

締め切りは2月29日(水)消印有効です

切り取り線

山折り線

料金受取人払
市川局承認
5246

差出有効期間
平成24年3月
15日まで

切手を貼らず
ポストに投函
してください

(受取人)
市川市八幡1-1-1

市川市役所 管財部管財課 行

山折り線

山折り線

1

2

3